

東京を震災から守るための総会決議

決議

東京の都市構造は、人口の過度集中と建築物の立体化危険物取扱量の増大、交通の輻輳などによつてますます複雑化の傾向にあり、防災上種々の問題を包蔵し憂慮される状況にある。

このような状況下において、東京都防災会議では近い将来、大地震の発生することを警告しているが、東京にひとたび地震が発生すれば、その被害は、はかり知れず真に寒心に堪えないところである。

本会においては昨年度、東京消防庁の重点施策に併せて、毎月一日行われる「都民防火の日」の運動を推進し、都民の防火思想の普及に努めてきたところであるが、本年度は、更に東京消防庁と緊密な連けいを保ち、積極的に震災諸対策に参画し、都民に自主防火体制の確立と防災思想の普及徹底を、強く呼びかけるとともに、都民が防災機関と一体になつて、東京を震災から守る運動を強く推進することをここに決議する。

昭和四十六年五月二十日

財団法人 東京連合防火協会

創立25周年決議

決議

本会は創立以来二十五年間一貫して都民生活の安全確保を願い、防火防災のため力を尽くしてきたところであるが、われわれを取り巻く都市環境をみると、必ずしも樂觀を許せないものがある。

特に危険物施設や高層ビル地下街等の激増に伴つて、東京は過密都市の様相を一層強いものにしており、ここで起こる火災やその他の災害もますます複雑多様化し、加えて尊い人命をも数多く失っていることはまことに憂慮に堪えないところである。

四半世紀を迎えた今大会は、これを一つの節として、さらに強力に事業をおしすすめるため、東京消防庁と緊密な連けいを保ちながら、毎月一日の「都民防火の日」をはじめとする、平素の防火活動はもちろんのこと近い将来起こりうるであろう大地震に備えて、町ぐるみの防災運動を展開し、安全な都民生活の実現に努力するものである。

右決議する。

昭和四十八年五月九日

財団法人 東京連合防火協会